

第5回調布市教育プラン策定検討委員会 会議録

日時：平成31年1月16日（水）

午後6時～7時42分

会場：教育会館 301 研修室

<出席委員>

神永	典郎	委員
遠田	恵理	委員
細川	真彦	委員
進藤	美左	委員
福田	なお美	委員
川島	隆宏	委員
平岡	盛仁	委員
西牧	たかね	委員
柏原	公毅	委員
高松	春美	委員
執行	純子	委員
秋國	光宏	委員

<議 事>

- 1 パブリック・コメントの実施結果について
- 2 次期教育プラン（案）について
- 3 今後の予定等

<配布資料>

- 資料1 調布市教育プラン（案）及び同概要版（案）に対するパブリック・コメントの実施結果（案）
- 資料2 調布市教育プラン概要版（案）
- 資料3 調布市教育プラン（案）

<会議録>

1 パブリック・コメントの実施結果について

事務局より資料説明が行われた。

- 委員 資料1について、意見はあるか。
- 委員 一生懸命意見を出してきたが、「お客様の委員」がいるという意見があった。より多くの市民に議論のプロセスや市の考え方を周知するという視点で、教育プランの発表会やシンポジウムを開催してはどうか。また、これまでそうした実績はあるのか。丁寧に説明できる機会があるとよいと感じた。
- 事務局 教育プラン策定を周知するシンポジウムの開催実績はないが、市の基本計画策定において、市民参加型ワークショップを開催している。そこでは、教育分野の周知、意見交換を行っている。基本計画の教育分野の内容は教育プランと整合を図っているため、そこで周知を図ることができていると考えている。
- 委員 今回のプラン策定にあたって前進したこともある。教育プランを丁寧に説明することで、批判や対立でなく、理解を深めていくことができると感じている。
- 委員 プランをスタートするにあたって、市民に周知する方法についての意見であった。事務局で検討してほしい。
- 事務局 検討する。
- 委員 意見26と27に対する市の考え方で誤植、わかりづらい表現がある。
- 事務局 確認し、修正する。

2 次期教育プラン（案）について

【概要版】

- 委員 概要版はカラーで作成するのか。
- 事務局 カラー刷りとする。
- 委員 概要版1ページ目で、子どもの貧困対策や働き方改革などトピックとなる点は色づかいを工夫してもよいかもしれない。
- 事務局 見出しの色を目立たせるなど、工夫できることがないか検討する。

【第1章 調布市教育プランの概要 2 策定の視点】

- 委員 P2「成果指標の設定」の項目で、成果指標の結果をもって施策と主要事業の取組全て評価するわけではないという考え方を示すことができるとよい。また、成果指標を設定する意図や視点、達成状況を教育委員会としてどのように捉えていくかということも記述できるとよい。

事務局 施策のねらいに対応した指標を掲げるということで内容を検討してきた。成果指標をもって施策と主要事業の取組を全て評価するわけではないという説明を追記することとしたい。

【第2章 施策の展開 第1節 施策の体系図】

委員 P4の図は最終的にこの大きさになるのか。もう少し大きくなるとよい。
事務局 見やすくなるよう検討する。

【施策4 個に応じたきめ細かな支援】

委員 施策4の指標について、パブリック・コメントにもあり、現場での意見も耳にしてきたが、変更した点は妥当だと感じた。

しかし、変更された指標についても、施策4全体をみると校内通級教室に通う児童・生徒のみを対象としたものであるため、少し違和感がある。

また、校内通級教室では1週間のうち2時間過ごし、ほかの時間は通常学級で過ごすことになる。この2時間以外の指導計画が指標に掲げられていない点が気になる。回りくどいかもかもしれないが、校内通級教室に通っている児童・生徒に対して、校内通級における個別指導計画の策定割合という、2時間に対しての話という説明があれば、誤解は招かないと考えた。しかし、この表現だと、ごく一部に対しての成果を測るものとなり、施策全体を評価する指標として妥当かどうかという議論もできるかもしれない。正確に説明するか別の指標を検討するか、議論の参考となるとよい。

最後に、平成30年の実績値があるが、12月時点のものということではどうか。

委員 実績値が12月時点のものである。

委員 表現を検討することとしたい。

委員 個に応じたきめ細かな支援がどの程度充実していくかということに対して、数値で測ることが難しいということだと考えている。

調べていない数値は指標として掲げられないことになっていると思う。数字で全て測ることは難しいという説明を加えるか、一つの例として指標を掲げるという説明を加えるかして、考えた末の結論ということを理解してもらうことも大切ではないか。

委員 「不登校児童について指標がない」といった意見が出ないよう、一つの例として指標を掲げるといった説明があるとよいのではないか。

委員 新たに調査して掲げる指標にするということは可能なのか。

委員 施策4の成果指標については、全体を表す指標が設定しづらく、庁内でもなかなか議論がまとまらなかった。現行の市の基本計画では「不登校児童・生徒の出現率」をまちづくり指標として掲げている。社会背景からこの

指標が適切でないという認識から、新たな指標を検討し、現在に至る。

今の議論をふまえ、施策全体を表す指標というのは難しいと感じている。一つの例として指標を掲げるとするのであれば、この指標を用いるとともに、誤解を招かないよう説明を追加できるとよい。

委員 テラコヤスイッチの使用など、不登校児童・生徒の個別指導計画もあってもよいと思うが、指標とするのであれば、丁寧な説明を追加できるとよい。

事務局 調布市特別支援教育全体計画では目標値を設定して計画を推進していくということで、本プランとも整合を図る視点でこうした指標を検討してきた。説明を加え、誤解を招かないようにしたい。

【施策5 魅力ある学校づくりの推進】

委員 資料2について、意見はあるか。

施策5の目標値について、28校は、市内全小・中学校だということがわかる表現を追記できるとよい。

事務局 表現を検討し追記する。

委員 P14の目標値の欄で、先ほど意見もあつたが市内全校で28校ということを追加してほしい。

事務局 素案本編、概要版と合わせて修正する。

委員 P15 主要事業19の働き方改革について、パブリック・コメントでもあつたが、意見したい。業務の絶対量が変わらないことには、働き方を見直しても多忙な状況は解消されない。現実として、そのようなことも一部では起きていると感じている。学校教育の質を向上するというのであれば、それなりの仕事の量は残るだろう。また、教員業務の見直しにあたっては、教員が子どもと直接接する時間を十分に確保することが重要だと感じている。こうした点に対して、教員業務の絶対量を減らす、教員が子どもと直接接する時間を十分に確保するといった具体的な記述ができるとよい。

事務局 「(仮称)調布市立学校における働き方改革プラン」において残業時間等を踏まえた具体的な対応策を検討している。多忙化解消に向けて、教員でなければできないことと、任せられる業務の精査を行うことで教員の業務を見直していくこととしている。

委員 具体的な方向性がみえる文章であるとよい。

委員 「(仮称)調布市立学校における働き方改革プラン」の方向性が少しでも、このプランでわかるとよい。

事務局 用語解説に追加する。

委員 学校教育の質を落とさずに、教員の負担を減らすという本質的な取組としてほしい。ただ単に「早く帰りましょう」ということにならないように願って

いる。

事務局 教員が子どもと直接関わる時間を十分に確保するということが、議論されている。こうした考えがわかるよう表現を再考する。

委員 子どもと関わる時間を確保するために教員業務の内容を見直すといったような前置きがあるだけで、伝わる内容が大きく異なる。概要版も合わせて修正を検討してほしい。

委員 目的や具体的な方向性がわかる文章としてほしい。

【施策7 学校施設整備の推進】

委員 P19では夏季の暑さ対策として体育館の空調設備について文章表現が修正されている。

委員 体育館の空調設備について、来年度具体的に整備が決定していることがあれば、それだけでも記載できないか。具体的に進んでいくことを示せるとよい。

委員 来年度以降もまずは中学校体育館を優先的に整備していくという考えのもと庁内調整を図っている。しかし、いつまでに何校で整備するか、小学校はどうしていくかなど、今後詰めていくべき議論もある。本プランの中でそこまで具体的に言及していくことは難しいと考えている。

委員 普通教室、特別教室の整備は完了しているということは記述できないのか。市民の方に現時点での情報を伝えることも重要だと考える。

委員 P18の背景の中で記述できるとよい。

【施策9 生涯学習社会への対応】

委員 P23 主要事業 31 は文章を見ると、「地域の課題や魅力の再発見」が主旨ではないか。公民館の主旨の中には地域の課題や魅力を理解してまちづくりに参加していくということもある。基本計画との整合を踏まえる必要があると思うが、修正は可能なのか。

事務局 基本計画との整合を踏まえつつ、修正案を検討したい。

委員 P23 に図書館利用に障害のある人々へのサービスとあり用語解説もあるが、図書館の意向でこうした表現となっているのか。市立図書館にはハンディキャップサービスがあり、実際に図書館に行くと図書館利用が困難な場合、このサービスを利用することになる。あえてこのサービスにふれていないのかどうか気になった。

事務局 図書館の担当部署に確認する。

【資料編】

- 委員 ほか意見はあるか。
調布市教育委員会の教育目標と基本方針は、昨年 12 月に新たなものになった。主な変更点を説明してほしい。
- 事務局 内容に大きな変更はないが、施策の並び順に沿うように基本方針の番号を入れ替えている。また、背景において東日本大震災という表現を全国各地で地震、台風・集中豪雨等の自然災害といった表現に直したり、熱中症事故など近年の社会動向をふまえて修正している。
- 委員 P40 の「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」は最新のものなのか。
- 事務局 施策 4 の背景で記載している「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」に関する内容に修正する。
- 委員 資料全般について、西暦と和暦が混合しており、また、平成 32 年という記述もある。修正できるとよい。
- 事務局 あらためて確認し、修正する。
- 委員 「外国にルーツを持つ子ども」とあるが、ルーツが国でないケースもあり、最近では「海外にルーツを持つ」という表現を用いることもあると聞いた。
- 事務局 現時点では国の方針に沿った表現を用いることとしたい。
- 委員 本日で最後の検討委員会となる。今後の修正については、委員長と事務局に一任させていただきたいが、よいか。
- 委員全員 委員長と事務局に一任する。

3 今後の予定等

- 事務局 成果指標の考え方を示すなど、いただいた意見を反映していく。また、現在並行して策定している市の基本計画との整合を図ったうえで、委員長とプラン案をまとめ、2月22日に開催予定である教育委員会定例会に諮るなど、プラン決定手続きを進めていく。3月にプランの決定を合わせて、パブリック・コメントの結果を市のホームページ上で公開していく。その時期には、各委員に冊子としてプランを送付する予定である。冊子の表紙は写真を用いて、見やすいものとしていきたいと考えている。本日の会議の議事録は後日送付し、あらためて内容の確認を依頼したい。

以上